

## 「秋田大学学生海外派遣支援事業」帰国報告書

所属：教育文化学部 国際言語文化課程

国際コミュニケーション選修 4年

氏名：大塚 寛子

派遣先大学名：龍華科技大学（台湾）

在籍身分：交換留学生

派遣期間：約12カ月

渡航年月日：2012年2月16日

帰国年月日：2013年1月27日



龍華科技大学の校門

### ○派遣先大学における授業等の履修状況

コード	授業名	履修期間	講義時間（週）	取得単位数
DCS23412	初級華語	2012年2月～	3時間	3単位
DCS23419	中國文化	2012年2月～	3時間	3単位
D99441A	進階英語會話（二）	2012年2月～	2時間	2単位
D100441D	寫作入門（二）	2012年2月～	2時間	2単位
D984411	英語演說訓練（二）	2012年2月～	2時間	2単位
	密集華語課程	2012年2月～	6時間	単位なし
D100441K	第二外語（一）-西班牙文	2012年9月～	2時間	2単位
D100441M	第二外語聽講練習（一）- 西班牙文	2012年9月～	2時間	2単位
DCS23413	中級華語	2012年9月～	3時間	3単位
D1014421	國文（一）	2012年9月～	2時間	2単位
	TOEIC 演習	2012年9月～	3時間	単位なし

### ○研究・学習概要及び今後の勉学計画

龍華科技大学の中国語の授業は初級中国語と中級中国語のみで、秋田大学で既に3年間中国語を学んだ私にとって物足りなく感じました。龍華科技大学に交換留学に来る留学生のうち、大半が中国人とベトナム人で、ベトナム人留学生は中国語を勉強したことがない人が大半でした。その為



中国語クラスの様子

高いレベルの中国語を勉強するには独学という形でした。時間割については学年学部問わず自分がとりたい授業を履修できるので、かなり自由度が高いと思います。1学期目は初級中国語とその他英語の授業、2学期目は中国語に慣れてきたので、留学生対象の授業のみではなく、台湾人の授業（国語、スペイン語）も履修しました。また、自分の文法の間違いを正したかった為、龍華科技大学の日本語の先生に個人的に授業をして頂き、毎週指定されたテーマに従って書いた作文を添削して頂きました。



実習先のゲーム会社の様子

夏休みには学校が紹介して下さったゲーム会社で実習を行いました。私が行う作業の内容は簡単なものでしたが、社員の会議やプレゼンテーションに参加することが出来、貴重な経験となりました。

台湾滞在中に日本語検定2級、華語文能力測驗 Level15、TECCを受験し合格することが出来ました。今後はHSK6級、中国語検定準1級合格を目指して更に努力していきたいと考えています。

## ○生活面について

留学中は4人部屋の寮で生活していました。各階ごとにテレビと冷蔵庫があり、部屋ごとにトイレが2か所とシャワー、洗面所、ベッド、机がありました。家賃は1学期分で約4万5千円です。1学期目は3人の台湾人ルームメイトと、2学期目は台湾人1人、中国人1人と生活を共にしました。日本では独り暮らしだったため、寮生活で上手くやっていけるか不安でしたが、ルームメイトは皆親切で快適に生活することが出来ました。

私のルームメイトは皆中国語スピーカーだったので、私が中国語でわからないことがあったらすぐ教えてくれる環境がとてもよかったです。ルームメイトとはとても仲が良く、何度か旅行に行ったり遊びにいったりしました。

また、台湾は外食産業が盛んで安いため、基本的に3食全て外食です。お弁当1つ150円程で購入できるので、食費は安く済みました。日本料理と比べたら油っこい印象を受けましたが、具合が悪くなったりすることはありませんでした。特に私が好んでいた

寮の四人部屋の様子





特大タピオカミルクティー

のがタピオカミルクティーで、100円以下で特大サイズが購入できます。

龍華科技大学は桃園県というところにあり、バスでも1時間程で台北に行くことができます。紀伊国屋やジュンク堂では日本語の本や参考書が買えますし、日本食のレストランやダイソー、日系デパートもあるので、ほとんど欲しいものが手に入る便利な環境でした。

## ○その他留学全般にわたる感想

大学主催の北海岸・金山老街への旅行

龍華科技大学には私以外日本人がおらず、出発前は不安の気持ちもありましたが、台湾人は本当に親日家が多くまた皆優しく、沢山の友達が出来ました。最初は中国語がなかなか聞き取れず辛い思いもしましたが、英語で説明してくれたり漢字を書いたりして親切に教えてくれました。



台湾人は本当に親日家で、日本の文化が身近に感じられます。テレビの100チャンネル以上あるうちの2チャンネルは日本の番組が見ることが出来、映画館でも日本の映画を見ることが出来ます。ファッション雑誌や漫画も中国語版と日本語版とが揃っているし、薬局で売っているシャンプーや化粧品の大半が日本の物で、初めて見たときは驚きました。私が日本人だと分かった瞬間笑顔で親切にして対応してくれたり1年間台湾人の温かさに触れました。



送別会の様子

去年尖閣諸島問題で日中の関係が悪化しましたが、その間も自身の危険を感じることなく生活することが出来ました。台湾に来る前は正直ここまで台湾が親日だということは知りませんでした。台湾人の温かさに触れるうちに、もっと日本人にも台湾について知ってもらいたいという気持ちが強くなりました。

沢山の方の支えがあり、私の留学がかけがえのないものとなりました。最初はほとんど話せなかった中国語も友達や先生方のお陰で上達することができ、これから先も大切にしたいと思える友達が沢山出来ました。この1年は私の





高尾の龍虎塔

これからの人生を変えるような大きな1年になったかと思います。

最後に私の留学に携わって下さった秋田大学の学務係の皆さん、先生、家族、友達、台湾で出会った全ての方々に感謝したいと思います。



千と千尋の神隠しの背景となった九份